

病と闘う子どもがその家族と
安心して滞在できる場所
それが、「パンダハウス」。

付き添いの
お母さんお父さんが
「パンダハウス」に
泊まります。
お洗濯をしたり、
おやつを作ったり、
からだを休めます。
一時外泊のときは
家族でゆっくりした
時を過ごします。

利用することで
心がやすらぎ励まされる
場所となることでしょう。

「パンダハウス」はやすらげる
もう一つのわが家です。



案内図



交通機関

- 医大附属病院から 車で5分
バスで本泉公園前下車徒歩1分
(桜台経由福島駅行き)
- 福島駅から 車で20分
バスで本泉公園前下車徒歩1分
(桜台経由医大行き5番のりば)

認定特定非営利活動法人

パンダハウスを育てる会 事務局

〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1

TEL・FAX 024-548-3711

E-mail: office@pandahouse.org

<http://pandahouse.org>

Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス





パンダハウスは病気と闘う子どもとその家族が大切な時間を共有できる素敵な空間です。

誰が利用できるの？

福島県立医科大学附属病院で治療を受けている方と
そのご家族なら誰でも利用できます。



みんなのへや

暖かい雰囲気のためのへや。
絵本を読んだり、
テレビやビデオを観たりできます。



キッチン

家族全員で食事できる
キッチンとダイニング。

利用できるものは？

テレビ・ビデオ・絵本・ピアノ・おもちゃ
洗濯機・洗剤・ドライヤー・シャンプー・ボディシャンプー
冷蔵庫・電子レンジ・炊飯器・湯沸かしポット・台所用
品・調味料・緑茶・コーヒーなど
生活に必要なものはほとんど揃えてあります。
食材と洗面道具、衣類等は各自でご用意ください。

遠くから面会に来たきょうだいや家族と、
ゆっくりとした時を過ごせます。



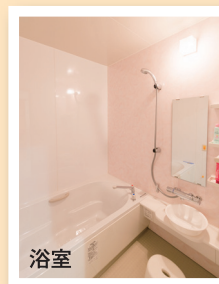
居室:洋室2室 おへやの名前:リンリン

(もう一つの洋室のおへやの名前:ホアンホアン)



居室:和室1室
おへやの名前:フェイフェイ

付き添っている
お父さんお母さんが
横になったり、
入浴したりと
休憩の場になります。



浴室

シャワー室もあります



洗濯室

パンダハウスへの申し込みは？

【申込受付窓口】

福島県立医科大学附属病院内
患者サポートセンターにて申し込みをお願いいたし
ます。

【平日】 月曜日～金曜日 9:00～17:00
TEL:024-547-1026

【休日・祝日・時間外】

患者様が入院中の場合は、管理師長様へ
ご連絡をお願いいたします。

- 入院している場合は、主治医または病棟師長へ相談の上、予約をお願いいたします。
- 予約は前月の1日（1日が病院外来休院日の場合は翌日）から受付可能、先着順となります。
- 1週間（7泊8日）以内とし、その以降は退室2日目より再申込手続きをしてください。
- 空室の時は、継続利用が可能です。
- 日帰りでの利用もできます。
- 患者さんお一人でのご利用はできません。

利用料はどれくらい？

宿泊する場合は 1室一泊 1,000円

日帰りする場合は 1室一日 500円

その他に、リネン類のクリーニング代が一人あたり500円かかります。

相談事業をはじめました

専門の相談員が療養生活に伴って生じる様々な心配事について一緒に考えながら解決のお手伝いをしています。まずはパンダハウスまでお電話にてご連絡ください。

月曜日～金曜日 9:00～16:00 TEL・FAX 024-548-3711